

# 和ん話んタイムズ

No. 4

2008.7.16

NPO 法人  
ここ掘れ和ん話ん探検隊

越後米沢街道・十三峠交流会の発足を記念した

「**ツデーウォーキング**」と

篠笛・和太鼓コンサート in 横根



今年4月に「越後米沢街道・十三峠交流会」が設立されました。峠に関する保存会などの団体や関係自治体が会員となって発足したもので、その事務局を「和ん話ん」が担うことになりました。

交流会の設立を記念したイベント、「ツデーウォーキング」が6月7日～8日に行われ、日帰りでの参加者も含めて50名余が、130年前にイザベラバードが歩いたいにしへの峠道を歩いた。

1日目、関川村の沼（畑鉦山跡）から大里峠を目指す。道は整備されている。峠の頂上には祠の中に大里大明神が祭られ、傍には大里峠の大蛇伝説の由来板が建つ。尾根を登った高台からは日本海も望めるのだがあいにくの曇天。一気に下って玉川のコミセンで昼食。午後は去年から敷石の掘り起こしを始めた萱野峠を越えた。朴の木峠から石畳を踏んで、健康の森へ到着。

屋外ステージ（ただの芝生）では、仙台市と川西町から友情出演の「和太鼓」「篠笛」「朗読劇」を楽しむことができた。

夜の交流会は、生ビールパーティーと地酒、峠と街道談義で盛り上がった。

2日目、黒沢峠口までバスで移動。敷石が続く峠を気持ち良く歩く。横川ダムは潜り橋（水が多いときは沈んでいる）を渡る。前日まで水の中にあった橋はまだ泥んこだったが、まるで水面を歩いているような気分。横川ダムの「きてくろ館」を見学して宇津峠へ。頂上での井上会長の流暢な説明に参加者は納得！ 予定より遅れたが、手ノ子の公民館で昼食、感想などを話してもらいながら閉会した。



## 第3回萱野峠敷石惚れ掘れ探検隊

萱野峠には、かつて先人たちの敷いた敷石が峠の土の中に眠っている。昨年の夏と秋、眠っている敷石を掘り起こしながら、史跡・歴史を地域の活性化につなげようと「敷石惚れ掘れ探検隊」と銘打ったイベントを行ってきた。

今年は3回目となるが、7月5日に行われた。遠くは宮城県からも参加され、総勢50名余が敷石発掘に心地よい汗を流した。「土の中から敷石が顔を出し、感激」「先人のなせる業に感服」「全部掘ってからの姿を見たい」などの感想があった。

昼食は、地元のお母さんたちの雑穀入りおにぎり。朴の葉につつんで香りもいい。なめこ汁・山菜づくしのおかずにも絶賛の声が。

午後は、先のツーデーウォーキングのビデオ放映と小国を紹介したスライドで楽しんだ。

参加者からは、秋に予定の4回目の日程を確認する話も出た。



今回の記念品は、大蛇伝説で有名な大里峠から産出する蛇骨（繊維石膏石）と峠のペンダントでした。

### 「やまがた社会貢献基金」

#### 「和ん話ん」も登録されました

「地域や社会のために何かしたいという想い」を“寄付”という形で団体につなぐために創設された基金です。寄せられた寄付は、NPO団体などの活動の支援に使われます。

寄付を受ける方の団体に「和ん話ん」も申請して登録されました。（県内で46団体）山形県のホームページにも「登録団体情報」として「和ん話ん」の詳しい情報が載っています。

<http://www.pref.yamagata.jp/kifu>

- 寄付は、個人（5千円～）、企業（5万円～）
- 納付書により、金融機関（〒は除く）から送金する
- 送金するときに寄付したい団体、例えば「和ん話ん」を選ぶことができます。
- 寄付した場合、所得税・住民税について優遇があります。

県がモデルケースとしている例では、

40,000円を寄付すると、35,000円の税金が還付されることになっています。

（収入や納税額によって還付される税金の額は違ってきます。計算はできます。）

「和ん話ん」に寄付してくれる個人の方・企業を探してください。

### 越後米沢街道・十三峠交流会

\* ホームページの開設準備が進んでいます。今月中にはオープンできる予定です。

オープンしたら、URLをお知らせしますので、感想・ブログなどへよろしく！

\* 十三峠のポスターもまもなく完成します！ B2判のカラーです。

印刷所と意見交換をしながら、今月中には印刷できるよう作業をすすめています。